

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東根市教育委員会			代表者名	田中敦
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	管理課	連絡先電話番号	0237-42-1111
担当者役職	指導主事	担当者氏名	中山雄介	連絡先E-mail	
住所	999-3795 山形県東根市中央1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ひがしねSTEAMアカデミー 技術・工学コース
概要	地域の小中学生のデジタル活用能力を育成する一環として、学校の教育課程の中では実施が十分にできない内容を講座を開設して、事業を実施する。		
支援を求める分野	教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月7日	支援・助言(実地)	8時30分	16時30分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	東根地域職業訓練センター		最寄駅	さくらんぼ東根駅
	所在地	山形県東根市中央1-3-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 博美	
評価	大変良い	
上記評価の理由 （どのようなところがよかったか等詳細に）	講座を実施するにあたり、PC等の環境の設定をすべて実施していただくとともに、講座での児童生徒のヘルプにすべて対応いただけたところ。	
アドバイザーへの要望事項	今後もしばらくご支援いただきたい。	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4ー1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	14人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2			12
4ー2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）		①創造力及び地域愛の気持ちの育成をねらい、教育版マイクラフトの活用が有効と考えた。しかし、ライセンスも含め、マイクラフトを使用できる環境が整備されていない。 ②児童生徒に一人一台の端末が整備されているものの、学校の学習だけではプログラミングを含めた情報活用能力を高めるには十分ではない。			
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）		①自分たちの住んでいるまちがどうなるとよいのかを考えながら、必要なものを創ったりすることを通して、創造力を高めるとともに地域の未来を考えることができる。 ②地域に必要なものについて提案することができるようになる。 ③自分の考えややりたいことに応じて自在にPCを活用する情報活用能力の育成。			

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①マイクラフトが自由に使える環境の設定。 ②マイクラフトの操作説明や補助。 ③参加者のイメージの実現のための助言及びサポート。 ④参加者作成データの共有や保存。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①講座自体の開催及びマイクラフトが自由に使える環境の設定。 (支援やアドバイザーがなければ、講座を開催することができなかったため。) ②マイクラフトの操作、制作における参加者の疑問や困り感の解消。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない マイクラカップに向けた作品を制作中。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講座の途中なので、まだアンケート等は実施していません。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	①令和7年度中にマイクラカップに出品する。 講座を通して、地域のよさや課題を見直し、よりよい東根市になるために必要なものを考える。考えたことを市や外部に発信する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

